

ハギオス

# HAGIOS

北海道聖化大会 NO.25 2022.3.31 発行



「わたしが聖（ハギオス）であるから、あなたがたも聖でなければならない」 Iペテロ 1:16



巻頭言

## 『わたしに従ってきなさい』

インマヌエル綜合伝道団札幌キリスト教会 葛田康毅

「良い先生。何をしたら、永遠のいのちを受け継ぐことができるでしょうか。」

（ルカの福音書一八章18節）

冒頭の聖句は、永遠のいのちを求めていた人が、主イエスのもとに来てした質問です。彼は幼い頃から神の律法を実践してきたと自負していましたが、確信がなかったのです。

まず、この人から学ぶべき三つのことがあります。それは①人生において求めるべき一番たいせつなものを理解していた、②自分の渴きを正直に認めた、③答えを主イエスに求めた、という点です。しかし、彼は主イエスのもとから悲しみながら去って行きました。

彼は永遠のいのちを受け継ぐため

に「何をしたらよいか」と尋ねました。自分の努力、一生懸命さによって永遠のいのちを得られず、そして思っていました。私たちが

も、神様の恵みを自分の努力で獲得しようと力み過ぎ、かえって信仰生活を窮屈にしているのではないのでしょうか。

また、この質問にはそれなりの犠牲を払う覚悟は見られますが、「最低限」で済ませたいという

思いも感じます。すべてを捨てて「わたしに従ってきなさい」との主イエスの招きを聞いた彼は、そのコスパを考え、財産を手放せずに永遠のいのちを諦めてしまったのです。何という愚

かで、勿体ないことだと思いますが、私たちにも主に従うため

に手放すことができないものはないでしょうか。

主イエスの「わたしに従ってきなさい」というこの招きは、私たちにも向けられたものです。私たちが「永遠のいのちを受け継ぐ」コスパを考えてみましょう。私たちの罪のために払われるべきコスト（ローマ六・23）、その救いと聖めのために神様が払ってくださったコスト（「ヨハネ三・16」）、その恵みに与るために私たちが手放すコスト（ピリピ三・8）を考える時、すべてを献げて主に従う生涯への招きに応えることが、どんなに素晴らしい恵みであるかを思わずにはおられません。



### 目次

- 〔巻頭言〕 葛田康毅
- 2 …第32回聖会記録
- 3 …同上
- 4 …ご案内/あとがき

コロナ禍で厳しい状況の中、二〇二二年五月十八日（火）、十九日（水）に第三十二回北海道聖化大会が、ネット配信を通して開催されました。今回は講師として郷家一二三師（坂戸キリスト教会）を迎え、主にローマ書、ピリピ書から御言葉を語っていただきました。

## 聖会 I

### 「聖霊を冒瀆する罪」

（マタイ十二章9～33節）

テキスト、そして、ヨブの事例とヨブ記において、非常に豊かでパウロの事例に触れながら、聖霊 幸いな日々を送っていたヨブががどのようなお方か、また、もしか 急転直下、何もかもを失い、どんすると私たちは聖霊を汚しやすい 底に落とされる。そのヨブの前に者であるということを一緒に考 三人の友、エリパズ、ビルダデ、え、みことばから聞いていきたい。ゾバル、そして終盤にはエリフが 主イエスはご自分を試し、何と 現れ、ヨブの試練の原因を彼自身かして殺そうとする。パリサイ人た の中に見出そうとする。因果応報ちへの反論の中で聖霊を汚す、或 的な信仰である。しかし、神は最いは聖霊に言い逆らう罪は赦され 後にご自分を天地万物を創造さないと言われた。なぜ赦されない れた方としてヨブに現わされ、ごのか。それは、聖霊なる神が働いて 自分についての無知を彼に深くはじめて人はイエス・キリストを 自覚させられた。こうした経験は信じ、心から信頼することができ 聖化にとっても重要であるが、反るからである。その聖霊を汚し、言 面、その経験によって自分はどうい逆っては救われようがないので 聖化は大丈夫だとし、神の更なるある。 聖化の働きを止めてしまうこと

があり得る。

パウロはローマ書六章で洗



2021年第32回 no 1 北海道聖化大会 セミナー 「旧約聖書が語る聖霊」

YouTubeでのオンライン開催となった第32回北海道聖化大会

礼について語り、それによって私たちはキリストとともに死んで、よみがえったと明言している。ところが七章では「私は何とみじめな人間か」と言い始める。自身の内になお残る罪の深い自覚が起こされるからである。これは洗礼を受けた後に一層強くされる。しかし、七章の最後からは感謝が始まる。私たちの心の中に、そしてあらゆることの中に聖霊が働かれることを見出すからである。

（文責 上野謙一）

## 聖会 II

### 「キリスト・イエスのしもべ」

（ピリピ一章1節ローマ一章1節）

パウロは、その書簡を始めるにあたってイエス・キリストのしもべである自分を明確にして語り出している。パウロが「しもべ」である自身の在り方を大切にしているのは、奴隷制度というものが当時の社会で一般的であったから、ということではない。パウロにとって一番しもべであり、誰よりもしもべのような在

り方を始め、そのように徹頭徹尾生きてくださったのは主イエスである。偉大な聖なる主イエスが誰よりも、しもべとしてその生涯を生き抜いてくださったので、その方の大きな恵みにより救われた自分は当然、主のしもべである、とのパウロの自己認識は生涯にわたって変わらなかった。

しもべは、ひたすら主人が称賛されるように仕え、労していく。そこに私たちの喜びもある。今私たちは、目に見えないウィルスとの闘いのただ中にある。多くの人々が苦しみ、教会もその対応に苦悩している。こうした逆境の中でも、私たちはキリストのしもべとして、このような苦しみをも主から与えられたものとして受け止めて行きたい。ただ、厳しい現状に茫然自失となるのではなく、キリストのしもべとして栄光の主人

であるイエスを見つめて、主イエスに、隣人に、地域社会に仕え続けたい。今、私たちが体験している苦しみから、良きものが生み出されることを主イエスにあつて期待しつつ、キリストのしもべである私たちとしての歩み貫徹させていきたい。(文責 山中智貴)

### 聖会Ⅲ 「祈りを執り成すお方」

(ローマ八章18〜39節)

ローマ人への手紙八章12〜17節とガラテヤ人への手紙四章一節〜七節には、私たちが肉や律法の束縛から離れ、神の子とされ、そのしるしとして、神を「アバ、父よ」と呼ぶ霊を宿していることが記されています。御霊は、私たちの霊と共に、確かにあなたは神の子だと、証

ししてくださいます。神の子であるということは、神の相続人でもあります。それは、共同相続人として、キリストの栄光を相続すると共に、キリストの苦難としての教会や我々が経験する苦難も共にするのです。苦しみから離れず、忍耐し、負いぬくことが、共同相続人となることであり、私たちの責任なのです。

コロナや様々な困難の中で、どうして神がいるのに、このような苦難があるのか、神はこの苦難を御存知ないのか、という誤解が生じます。しかし、神は民の苦しみを見て、聞いて、知っておられ、それだけでなく、天から降って、救われるのです。(出エジプト記三章7節)

キリストの贖いと聖霊により、神の本当の子として、ただ一言「アバ、父よ」と祈れる私たちは、どう祈ってよいかわか

らない時にも、聖霊に導かれ、執り成していくのです。(ローマ八章26〜28節) イエス様は、ゲッセマネで「アバ、父よ」と祈られ、神の御心として十字架に向かわれました。(マルコ一章36節) 私たちが共にする苦難とは、神の御心の中で、我々に与えられる苦難といえます。神は、私たちを救うために、御子をひととして遣わし、聖霊を我々の内に宿らせ、働いておられます。この神に支えられ、「アバ、父よ」と祈り、互いに執り成す者へと変えられたことが、神の聖さの表れなのです。約束された栄光を相続するため、艱難を耐え忍び、「アバ、父よ」と互いに祈り合っていこうではありませんか。

(文責 加藤直子)



# ■第33回 北海道聖化大会

わたしが聖であるから、あなたがたも聖でなければならない。

— Iペテロ1:16 —

## ■ 講師

小坂(こさか)嘉嗣(よしつぐ)先生



### プロフィール

1960年愛知県で生まれ、埼玉県狭山市で青年時代を過ごす。当時の日本宣教会久我山宣教会の中原幸茂牧師に信仰の導きを受ける。

大学卒業後に一般企業に就職。5年後に召命を受けてインマヌエル聖宣神学院で学ぶ。

1993年卒業後に狭山市の実家のリビングで開拓伝道を開始して今日に至る。現在、日

本宣教会狭山キリスト教会牧師。日本宣教会監督。他に関東聖化交友会副会長、日本聖化協力会書記、再臨待望同志会会長代務、学校法人狭山ひかり幼稚園理事。

2022年

5/17(火)・18(水)

## ■ 会場

北海道クリスチャンセンター

北7西6(北大南門そば) TEL 736-3388

5/17(火)	5/18(水)
	10:30am 聖会Ⅱ
3:30pm セミナー	2:00pm 聖会Ⅲ
7:00pm 聖会Ⅰ	

■ Youtube において、聖会の同時配信も行います。視聴方法は、検索サイトにおいて『北海道聖化大会 Youtube』と検索していただくと視聴可能です。

## 北海道聖化大会会計からの感謝とお願い

第32回大会は、オンラインの開催を余儀なくされました。その中でも、恵みを慕い求め、御言葉に心を寄せて下さいました。また、この働きのためにお助けくださった教会・信徒の方々に心から感謝しております。この年(第33回)も、主の聖会を祈りつつ準備を進めております。ぜひ、この年の聖会の必要、継続のためにお祈りとご協力を宜しくお願いいたします。

(会計係 小林)

- |              |        |
|--------------|--------|
| ① 集会献金       | 40万円   |
| ② 教会献金       | 25万円以上 |
| ③ 特別献金(篤志献金) | 10万円   |

## 北海道聖化大会の為の 献金振込先

ゆうちょ口座

(店名) 九〇八

(店番) 908 2942616

(口座名)「北海道聖化大会委員会」

\*ご自分の郵貯口座から上記の口座にお送りいただく場合、送料は1回100円になります。

\*銀行、郵便局ATMもご利用できます。

\*振替口座番号: 02760-8-48862

\*赤伝票での現金送金には、手数料110円がかかります。

## 編集・発行者 北海道聖化大会委員会

〔事務局〕

〒065-0026

札幌市東区北26条

東9丁目5-23

日本ホーリネス教団

札幌教会内

TEL 011-731-2712

印刷所

(株)三誠社

札幌市中央区北6条西15丁目

TEL 011-622-9211

■ 普段は、雪の多いところが少ない目で、普段少ないところに尋常ではない雪が降りと・・・。コロナに加えて多様な試練が続きますが、聖化大会を通して、新しい勇氣、希望、神の恵みに共に与りましょう！

(編集担当・山中)

■ 今年(2022年)の聖化大会には、関東より小坂嘉嗣先生をお迎えいたします。対面とネット(Youtube)の両方での開催となり、出来るだけ多くの方々に参加していただく体制が整いました。感謝！

## 編集後記

■ 昨年は、コロナ禍での開催で、ネットでの実施となりました。ネット配信を通して普段なかなか来られない方々にも御言葉の恵みがもたらされたと感じています。